



チェックリスト:

SASE を導入する際の 5 つの重要なヒント

SASE (セキュア アクセス サービス エッジ) は、IT のネットワーク機能とセキュリティ機能を合理化して、場所と環境を問わずアプリケーションにシームレスかつセキュアに接続できるようにする、新しいアーキテクチャです。



1

クラウド対応のアーキテクチャで WAN をレベルアップさせます。

SASE の本質は、あらゆるユーザとあらゆる場所のあらゆるアプリケーションを安全に接続することにあります。統合されたマルチクラウドアクセス、シンプルな管理、実用的な IT のインサイトにより、安全でシームレスな接続を実現し、ユーザが期待するデジタルエクスペリエンスをいつでもどこでも提供します。

- [Cisco SD-WAN](#) の詳細はこちら

2

クラウドのセキュリティを合理化します。

DNS レイヤから開始するか、既存の機能を基盤として、オープンなセキュリティ プラットフォームと容易な統合により、さらに機能を強化します。複数のセキュリティ機能を 1 つの使いやすいクラウドネイティブサービスに統合し、後付けではなく、最初から組み込みのセキュリティを備えています。

- [Cisco Umbrella](#) の詳細はこちら

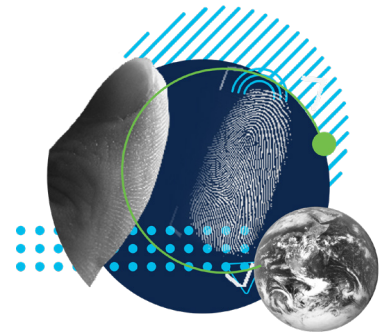


3

ゼロトラストにより、シンプルでセキュアなネットワークアクセスを実現します。

シンプルなゼロトラストアプローチにより、ブランチワーカーとリモートワーカー全体のアイデンティティ管理を維持します。アプリケーションがホストされている場所にかかわらず、アプリケーションへのすべてのアクセス試行に対しポリシーベースの制御を有効にすることで、信頼できるユーザのみがアプリケーションにアクセスできるようにします。

- [Cisco Secure Access by Duo](#) の詳細はこちら

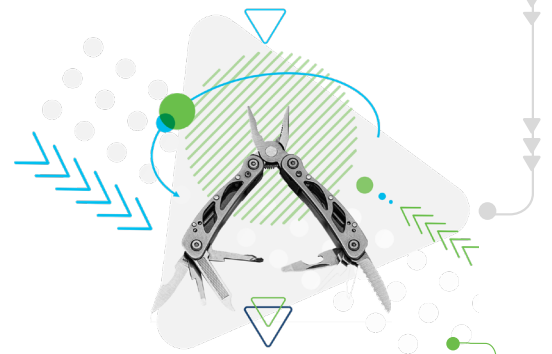


4

断片的ではないシンプルなプラットフォームを選択します。

SASE は製品ではなく、アーキテクチャです。そのため Gartner 社では、SASE を導入する際、ネットワーキングとセキュリティには単一のベンダーを利用することを推奨しています。あらゆる環境で課題を解決するための広範な専門知識を持つ、プラットフォームアプローチを提供するベンダーを利用することで、複雑さの解消、パフォーマンスの向上、コストの削減が可能になります。

- [シスコがネットワーキングとセキュリティの統合型 SASE ソリューションを今すぐどのように提供できるかについての詳細はこちら](#)



5

お客様独自の SASE を実現します。

SASE への移行は、クラウドへの移行を加速させます。その道のりはお客様ごとに異なっており、独自の方法でそこに到達するための柔軟性が必要です。お客様の現時点のニーズを満たし、現在の状況と将来の状況に対応できるプロバイダーを選択します。

- [シスコがお客様独自の SASE の実現をどのように支援するのかについての詳細はこちら](#)



[シスコの SASE に対するアプローチの詳細はこちら](#) ➤